

ヌマハリイ

カヤツリゲサ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧 I 類

国カテゴリー 該当なし

Eleocharis mamillata Lindb. fil. var. *cyclocarpa* Kitag.

選定理由

県内ではもともと稀産の種である。既知の産地と新たに確認された産地を合わせて6ヶ所あるが、今回の調査で現存が確認されたのは4ヶ所。(現況:R-)

形態

稈は太く径2~4mm、高さ30~60cm。クログワイに似るが、クログワイの稈にみられる竹の節のような隔膜はなく、すべての稈の先端に幅3~6mm、長さ1~3cmの小穂をつける。

国内分布

北海道~九州。

県内分布

加賀中央区(金沢市)、南加賀区(白山市白峰地区、小松市)。

生態など

浅い水中や湿地に生え、根茎を伸ばしながら広がる。花期は7~9月。

生育環境

山地の池沼の水辺や水湿地。

危険要因

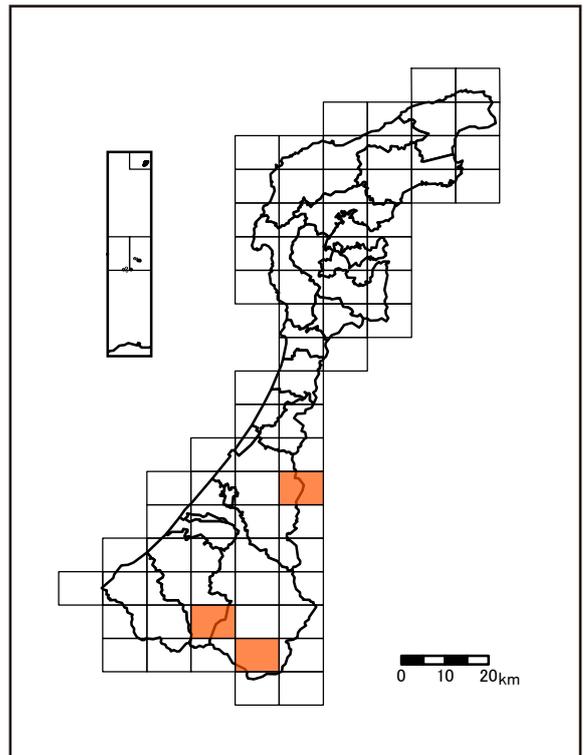
池沼開発、踏みつけ、自然遷移、産地局限。既知の自生地のうち1カ所は林道脇にあり環境悪化により近年消滅、現存する自生地の1カ所は登山口の駐車場の建設により群落の一部が埋め立てられ、消滅寸前となっている。

特記事項

自生地の一部は白山国立公園および医王山県立自然公園内にある。



林 二良・2008年7月20日・南加賀



県内の分布